



平成29年 9月28日(木)

高山村立 高山小学校だより No.3

〒382-0831 上高井郡高山村大字高井3455

ユネスコスクール



自転車クラブ全国で団体8位！個人3位入賞！

自転車クラブは「交通安全子供自転車大会」須高地区大会では10連覇、長野県大会では県内9連覇を達成し、練習を重ねて、8月9日東京ビッグサイトに乗り込み全国の壁に挑みました。全国大会は各県の予選を勝ち抜いた強豪校や常連校がひしめき合います。その緊張感はそうとうなものだったと思います。しかし本校自転車クラブは、持ち前の明るさと団結力でプレッシャーをはね除け、ハイレベルな戦いを展開しました。結果は団体で8位。個人の部ではキャプテンで6年の山崎朔也君が全国の3位に入賞というすばらしい成績を収めました。



楽しかった運動会

今年の運動会は本当にすてきでした。絶好の天気の下、開会式の入場行進で、胸を張って歩く姿が立派でした。赤も白も力を合わせ心を合わせ、どの子も一生懸命楽しそうに、跳んだり走ったり踊ったり。全力ではつらつとプレーしてました。まさに開会式の選手宣誓で誓った通りの頑張りに、見ている人たち皆が感動することができました。



1年生は初めての運動会。もう何をやっても何を見ても、嬉しくて楽しくてしょうがない1年生でした。6年生は最後の運動会。さすがに貫禄あふれる立派な走りや演技が光りました。応援でも全校を引っ張り、組み体操でも下級生をびっくりさせ、会場をうならせた6年生。ここまで来ると、本当に苦労して努力して、練習を積み重ねてきましたね。さすがでした。勝敗は、今年も白が勝ちました。





秋の交通安全教室

9月25日晴天の下、秋の交通安全教室が行われました。県交通安全教育支援センターから4人の指導員の皆さんが来校され、低・高学年に別けて、交通事故の怖さについて分かりやすく指導していただきました。写真のように校庭に下りる階段が座席です。実際に実験車両が「死角」「内輪差」や「人形との衝突実験」を実演してくれました。「死角」実験では、車の運転手から見えない場所がこんなにあるんだ、と驚きの声が上がりました。「内輪差」の実演では、交差点の角に立っていると、左折してくる車の後輪が内側に食い込んできてはねられてしまうことが分かりました。最後の「衝突実験」では、時速30km程度の低速でも、人形が遠くまで飛ばされてしまう恐ろしい場面を観察しました。あの人形が車にはねられたときの鈍い音を覚えてる子や、もし自分だったら、と考えられた子はきっと事故に遭わないように気をつけられると思います。自分の命は自分で守る！ですね。



転任職員・新任職員紹介

1学期末に、学びの教室支援員の北澤恵美先生が退任され、須坂小学校の専任職員となられ、2学期から後任の大畑由香里先生が着任しました。また、欠員だった児童介助員として、荻原里美先生が着任しました。ご承知おき下さい。

今年も、メディアコーディネータ支援授業行われる



これからの未来社会を生きるために、情報の学習は欠かせません。パソコンだけでなく、タブレットやスマホといった情報端末がどんどん普及しています。大人も着いていけず、子どもの方が詳しい、なんて話も耳にします。これらを使いこなして効率よく仕事をしたり情報を取り入れ整理統合し、発信したり共有したりしながら生活を豊かにしていく力は、これから益々重要になっていくでしょう。

同時にネット社会に潜む闇や危険性、ネットいじめや差別の問題も避けては通れない時代です。高山小学校では、コンピュータ教室

を活用しパソコンを使った学習を行っています。村教委の支援を得て、毎年プロのメディアコーディネーターを招いた情報教育の授業を全学級で行っています。今年も9月25日～29日の1週間集中して行われました。学習の内容は、1年：ログインのやり方、マウスの使い方など 2年：マウスを使ったお絵かきなど 3年：ローマ字タイピングや名刺づくりなど 4年：ネット検索や写真付き文書作成など 5/6年：個人情報とネットの怖さなど、となっています。学年や習熟度に応じた指導をお願いしています。子ども達はパソコンの授業が大好きです。この子達が、いつか高度情報化社会で逞しく生きていく姿を想像しています。

秋の体験学習、社会見学シーズン到来



秋の体験学習・社会見学の季節になりました。

5年生は無事稲刈りを終えました。これから新聞社や工場などの社会見学が待っています。

3年生はチャオルで乳児検診見学をしました。赤ちゃんとお母さんに向き合うことで命の大切さや嬉しさを実感しました。10月には、みそ工場見学・共撰所やスーパーの見学をして見聞を広げます。

2年生は前田牧場の牛さん達と関わってきました。いつも飲んでおいしい牛乳がどこでどうやって作られているのか学んできました。10月には臥竜公園探検や電車の切符購入乗車体験をしてきます。

さらに、1年生はチャオルの森で秋さがし、4年生

は浄水場や県庁見学、6年生は修学旅行・ミュージカル鑑賞と、秋は社会見学や体験が続きます。お天気がよくなりますように...

地区懇談会で寄せられたご意見に対して

地区懇談会で寄せられたいくつかの質問にお答えします。

Q 1 学校から家までかなり遠いので、途中で雷が発生した場合の対応は？

A 学校では雷が起きそうな天候の際には、下校時刻を遅らせるなどの対応をしています。それでも下校途中に雷が落ちそうなときは、「子どもを守る安心の家」に駆け込むなどの対応をお願いします。

Q 2 不審者情報はオクレンジャーだけでなく村内にも放送してほしい。

A 須高地区管内に不審者が出没したときはオクレンジャーで情報を伝えています。この情報は教育委員会にも伝わっています。村内放送するかどうかは、村内に不審者が徘徊しているなど、切迫した状況にある場合などが考えられます。いずれにせよ連携の上、村当局が判断するようになります。

Q 3 防災マニュアルはあるのか。大雪や災害の際などある程度予測できるものは、事前の、あるいは早めの対応を。

A 防災マニュアルは毎年見直して更新もしています。大雪の際は職員も身動きが取れず対応が遅れてしまいましたこと、お詫び申し上げます。通学路等の現場を見ないと、判断が難しい場合がある事をご理解下さい。今後はできるだけ早い対応ができるように努めて参ります。態勢を整えて、Jアラートが発令された際にもできるだけ早くオクレンジャーを発信するように努めています。

Q 4 奥山田4地区の登校が、バスを降りた後小さい子だけになってしまうことがある。登校班構成を見直すことは？

A 登校班指導を継続していきます。登校班構成については支部長さんにご協力いただき検討します。

Q 5 牧地区の冬期の通学路が危険。高学年も冬期バス利用ができないか。

A 他地区との公平性の問題がありますので、今後の検討課題とさせていただきます。通学路の安全確保は村当局にもお願いしていきます。

先生方は非違行為防止研修を行っています

長野県内の学校職員が非違行為をしてしまったというニュースがよく聞かれます。その度に子ども達や保護者との信頼関係が失われる事態となり、私たち教職員は胸を痛めています。本校からはこのような残念なことが絶対に起きないように、職員も非違行為を根絶するための研修を継続しています。研修内容は、体罰やハラスメント、飲酒運転・交通違反など多岐に渡ります。今回は体罰防止研修後の先生方の感想の一部を紹介します。

【先生方の感想の一部】

○一生懸命な先生ほど、カッとなりやすい。自分を知っておくことも大切。

○他の先生方も、同じ思いを持っていると感じて嬉しかったです。子ども達にヒートアップしない方法を考えてあげる立場なのに、自分がクールダウンできないのは修行が足りないなあ、と思っています。普段からガス抜きします。

○ヒートアップしたら一歩引く、というのは良い考えだと思います。複数で対処するのも有効です。

○愚痴をこぼし合い助け合える職場の雰囲気は大切だと思います。孤立しないように。

○周りに助けを求める勇気も必要だ。

○自分でどう自覚し、どう振り返られるかそれが大切。

○人を助ける力が無くても、話を聞いてあげられる話しやすい人になれるといいな。

○日頃自分にも起こりうることに對して情報共有できてよかったです。実践していきたいです。

○皆さんいろんな場面でクールダウンしてるんだなと思いました。

○どんな経験を経てきた先生でも、イライラしたり焦ったり感情的になってしまうもの。クールダウンや同僚性で心のブレーキをかけられるようにしたい。

○忙しきでついイライラしてしまうので、気をつけたい。

○アクティブラーニングによって、自分では気がつかなかったり思いもよらない考えを知ることができた。とても参考になった。

○こうやっていろんな先生方と話をすることで先生方とつながることができていいな、と思いました。

○自分は体罰なんてしない、と思っているが、もしかしたら自分も起こしてしまうかもしれない、という考えで研修を積んでいきたい。

○コンプライアンスの基本「守るルールが自分を守る。」